

## 侵入防止の心がまえとは

### ★なぜ被害が出るのかを知る

- ・動物は学習し、慣れるものです。
- ・牧場でエサが手に入ると学習し、何度も来るようになります。
- ・防がなければ、習慣化し凶々しくなります。

### ★守りたい区域はしっかり囲う

- ・牧草地、施設とも境界がないと、野生動物は入り放題です。
- ・畜舎が住みか、飼槽が餌場とさせないようにしましょう。

### ★気づいたらすぐに対策を

- ・一度に全部対策をしないと守れないわけではなく、一つでも対策を始めることが大事です。
- ・防護柵も過信は禁物。日々の見回り、補修を怠りなく行いましょう。

 濃厚飼料 3Kg でイノシシが 4 頭養える

牛が飼槽からこぼした濃厚飼料を目当てに、イノシシ、タヌキ、キツネなどが訪れています。濃厚飼料のカロリーは野生動物にとってはとても大きなものです。

こぼれた餌は、きれいに片付けましょう。



季節(年)	調査日	こぼれた濃厚飼料の量 (g DM/日)	換算エネルギー量 (Kca/日)*	エネルギー/イノシシの日要 求量(頭)*	同タヌキ(頭)*	同キツネ(頭)*
冬(06-07)	12/6, 1/7	2,964	9,413	4.4	27.7	24.9
春(07)	4/7, 5/7	2,921	9,275	4.4	27.3	24.5
夏(07)	7/7, 8/7	2,518	7,996	3.8	23.5	21.2
秋(07)	9/7, 10/7, 11/7	2,452	7,786	3.7	22.9	20.6
冬(07-08)	12/7, 1/8, 2/8	2,732	8,674	4.1	25.5	22.9
春(08)	3/8, 5/8	2,987	9,483	4.5	27.9	25.1
夏(08)	7/8, 8/8	2,630	8,349	3.9	24.6	22.1

\*日本標準飼料成分表(2001)、イノシシ(60kg)の餌摂取量(Takeuchi et al. 2009)、タヌキ(5kg)の基礎代謝量(Korhonen et al. 1984)、キツネ(5kg)のエネルギー消費量(Saunders et al. 1993)より換算。

Tsukada et al. (2010) Mammal Study 35: 281-287, を改変

## 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業

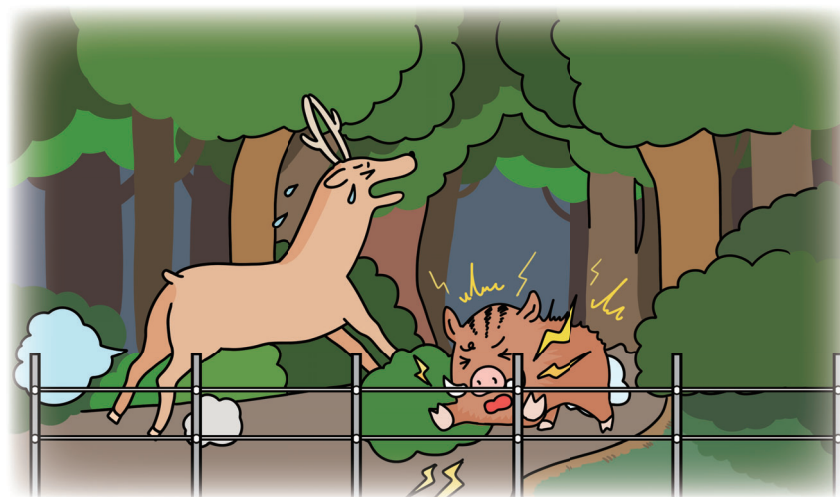
野生鳥獣による農作物被害金額は、平成24年度以降減少傾向にあるものの平成30年度、約158億円にのぼっています。特に、イノシシ及びシカによる被害は甚大で、その対策は国の重要政策課題ともなっています。畜産農場においては、飼料作物や配合飼料の盗食による被害のみならずPED、AD、CSF等伝染病の伝播拡散、公衆衛生面では食中毒菌の伝播、人獣共通感染症(E型肝炎、トキソプラズマ病、SFTS等)の対策が課題となっています。

このような中、当協議会では公益財団法人全国・畜産振興会からの助成を受け、平成29年度から3か年事業として、15県畜産協会等が本事業に取り組み、野生獣被害の情報収集・交換体制を地域協議会として構築・整備するとともに、捕獲された野生獣、特に被害原因の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態調査、野生獣の畜舎等への侵入防止対策、獣肉処理施設でのモニタリング等を実施し、普及等情報発信を行っています。

### 【事業参加15県協会等名】

協会等名	
* (一社) 青森県畜産協会	(一社) 奈良県畜産会
* (公社) 山形県畜産協会	(一社) 岡山県畜産協会
(公社) 群馬県畜産協会	(公社) 香川県畜産協会
(公社) 千葉県畜産協会	(公社) 愛媛県畜産協会
(公社) 富山県畜産振興協会	(公社) 大分県畜産協会
(公社) 岐阜県獣医師会	* (公社) 宮崎県畜産協会
(公社) 静岡県畜産協会	(公社) 鹿児島県家畜畜産物衛生指導協会
(公社) 兵庫県畜産協会	

事業期間：平成29年度～令和元年度 (\*印：平成30年度より)



## 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業



# 野生獣から家畜を守るために



～ 畜舎等への侵入防止対策～ (シカ&イノシシ)

### 家畜衛生対策推進協議会

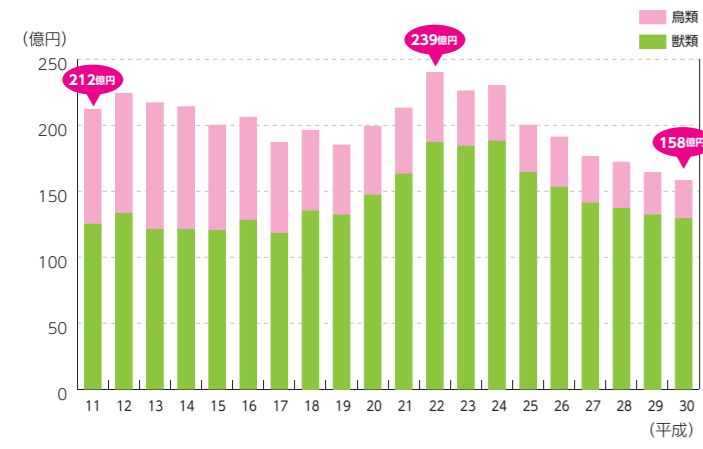
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-16-2 (第2DICビル9階)  
TEL 03-6206-0832 FAX 03-3256-9311

### 家畜衛生対策推進協議会

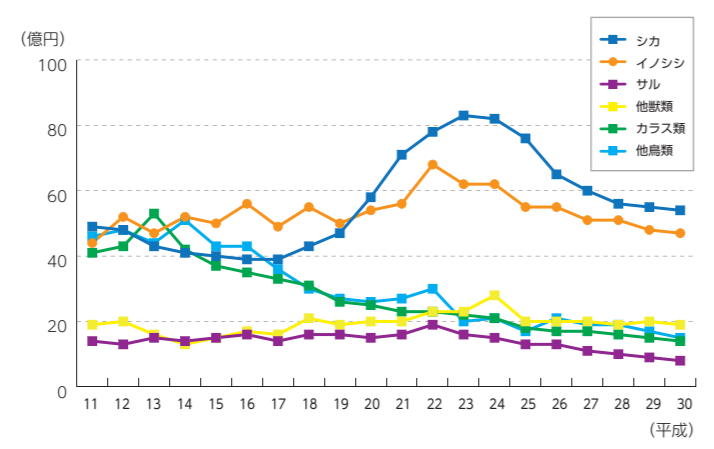
## 野生獣等による被害状況

国内の野生鳥獣による農作物被害金額は、平成 11 年度以降、毎年 200 億円規模が報告されています。鳥類による被害が半減する一方、獣類の被害は依然多く、シカ、イノシシによる被害が大半を占めています。

### 野生鳥獣による農作物被害



### 鳥獣種による農作物被害額の推移



農林水産省農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (2019) より作成

## 野生獣による畜産への被害



シカの牧草食害      イノシシに破られたラップサイレージ      仔牛と豚のタヌキが接触する

畜産業においては、シカによる牧草の食害が甚大で、飼料の自給に大きな影響を及ぼします。またイノシシやタヌキ、アライグマなどの畜舎侵入による、配合飼料の盗食、汚損、咬傷が発生しており、家畜との接触による獣畜共通感染症の伝播が危惧されます。これらの対策は、畜産振興及び行政上の解決すべき重要な課題です。

## シカ&イノシシ侵入防止対策について

シカやイノシシの習性に基づく柵の張り方や、管理の際の注意点など、対策には正しい情報が必要です。実はあまり知られていない、ちょっとした心がけで被害を防げるポイントについてイラストにまとめました。シカやイノシシからどうやって牧草地や畜舎への侵入を防げば良いのか、普段の対策に漏れはないか確認してみてください。

### 牧草地と飼料畑の対策 電気柵で作物を守る

牧草地はシカの被害が圧倒的に多い。ここではシカ用の電気柵の張り方や注意点について紹介します。

- ❌ 果樹などを放置しない**  
柵の周りに動物のエサとなる果物が放置されていると、動物が寄ってきます。それが牧場に導く原因にもなります。収穫するか伐採するなど管理しましょう。
- ⊙ 四方をしっかり囲う**
- ⊙ 道路からは 50cm 以上離して**  
コンクリートの道路ぎりぎりに電気柵を張ると、電気がうまく動物に伝わりません。動物の前足が草や土の上に乗るように、道路からは50cm以上離します。
- ⊙ 電気柵は 24 時間通電**
- ⊙ 高さ45cmでワイヤーを1本増やすと効果アップ**  
シカ対策の電気柵は30cm間隔で5本張るのが基本ですが、高さ45cmで1本余分に手前に張り出すようにワイヤーに張るとより効果が上がります。
- ⊙ 柵の周りの草は刈り取る**  
防草シートも有効です

### 畜舎や施設の対策 金網柵で守る

牧草以外の飼料作物ではイノシシ被害を受けることが多い。ここではイノシシ用のワイヤーメッシュ柵、電気柵の張り方、管理のポイントを確認しましょう。

- ❌ 金網線と電気柵は絶対につながらない**
- ⊙ 電気柵も効果あり**
- ⊙ 柵のつなぎ目は**  
柵の結合が甘いと、イノシシはすき間から容易にくぐります。ワイヤーメッシュのつなぎ目は、1マス (10cm) 分重ねて、針金や結束帯でしっかりと結びましょう。
- ❌ 柵のゆるみ、破れに注意**  
ワイヤーメッシュの一部が破れていたり、すき間ができていたり、イノシシはそこから潜って侵入します。
- ⊙ 柵の裏表を正しく**  
ワイヤーメッシュは、縦棒が畑の外側に来るように張ります。横棒が外だとイノシシに引っ張られやすく、溶接がはずれることがあります。
- ⊙ メッシュの目合いは 10cm 四方以内**
- ⊙ 柵の下部はペグで固定**  
接地面をハウスパイプで補強する方法も有効です。

幅は 30cm      柵の高さは 1.5m

50cm 以上      45cm

柵の高さは 1m

もっと詳しく知りたい方は、以下の QR コードから HP をご覧ください (農研機構研究成果情報)。設置方法の解説動画を、機構が YouTube で展開する NAROchannel に公開しています。